

美麻い〜とこよっとくれフェア開催事業

取り組みに至る背景・事業の目的

住民自治による合併後の地域活性化を目指し、平成16年度から住民有志が中心となって地域自治組織設立の検討を重ね、平成18年5月に「美麻地域づくり会議」が発足した。

地域において課題となっていた、「地域を住民主体で活性化させるため、活動への参加者を増やす」、「過疎、高齢化の進展による遊休荒廃地の増加と景観の悪化」、「地域の活性化のための特産品の普及、開発」に対応し、地域の活力の創造を図る。

事業内容

- 「道の駅ぽかぽかランド美麻」を地域活性化の舞台として「美麻い〜とこよっとくれフェア」を5月から10月の間に5回開催した。(来場者延べ1,600人)
- 遊休荒廃地減少を目的に、ヒマワリコンテストを開催した。公民館と連携し各家庭にヒマワリの種を配布し景観形成の取り組みをコンテスト形式で実施するとともに、特産品としての活用方法を見出すために、料理レシピの募集も行った。
- 絵地図を印刷した旗と包装紙を製作し、地区内事業所等で使用いただく、統一的なキャンペーンを実施した。離村者と移住者が多い地域の特性を生かして、年末の贈答品を絵地図包装紙で包んでもらうキャンペーンを展開した。



ヒマワリによる遊休荒廃地減少

事業効果

「地域づくり」＝「よくわからない」というイメージから、「気軽に参加できる楽しいこと」といった感覚を持っていただくことが出来、子どもからお年寄りまで幅広い参加があった。

- ・「美麻い〜とこよっとくれフェア」はスタッフが、延べ500人以上（30以上の団体と個人）と多くの人が企画運営に参加した。
- ・「ひまわりコンテスト」では、ヒマワリ30a、エゴマ20aの育成により、遊休荒廃地を解消した。写真・絵の応募は28点、収穫・生育に関わった人は38人、料理レシピ数は12となった。ヒマワリの種料理教室は、NHK長野放送局の番組で2回取り上げられ、地域のPRにつながった。
- ・「美麻からのプレゼント de PR大作戦」は360人と多くの参加があり、地域への関心の高まりが感じられた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

会員の意見や提案により内容を決めることで参加者も楽しく（費用も少なく）実施できた。多くの人が気軽に参加でき、効率よく目標を達成できるよう各課題を関連付けて、会員団体のイベントと連携を図った。

気軽に参加しやすいイベント内容の検討や、広報の方法を工夫した。

楽しく、気軽に参加できる地域づくり活動に加え、地域課題の解決を図る活動を実施したい。

【選定のポイント】

道の駅の活性化にあわせ、遊休荒廃農地の減少と景観形成もセットにした取組が評価できる。

団体名	美麻地域づくり会議（大町市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 0261-29-2311	事業費	666,868円
	http://miasa.info/ info@miasa.info	支援金額	588,000円